

第2次

茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画

～読書のよろこびを子どもたちに～

平成28年度 評価書



平成30年5月

茅ヶ崎市教育委員会

1 意見書

茅ヶ崎市立図書館協議会による外部評価

茅ヶ崎市立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条第 2 項の規定に基づいて設置された審議会です。茅ヶ崎市立図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べることを目的としています。第 2 次子ども読書活動推進計画の推進についても、庁内における自己評価をもとに評価を実施し、意見書としてまとめていただきました。

平成28年度 第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画 意見書

茅ヶ崎市立図書館協議会

第1次、第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画の趣旨である、子どもが読書に親しむための環境をつくり、機会を提供し、子どもの読書活動のための普及と啓発を行うことによって、「読書のよろこびを子どもたちに伝える」ことを目標として、計画的に様々な事業や取り組みが展開され子ども読書活動が推進されています。

今回、第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画（5か年計画）の初年度である平成28年度計画の施策1（子どもが読書に親しむための環境づくり）、施策2（子どもが読書に親しむための機会の提供）、施策3（子どもの読書活動の普及と啓発）の進捗状況と課題を各役割、（1）家庭（2）幼稚園・保育園・認定こども園（3）学校（4）図書館（5）公民館等の読書活動の取り組みについて報告いたします。今後の子ども読書活動の推進に資すればと考えます。

（1）家庭における読書活動の取り組み

平成25年度市内公立保育園調査で93.4%の家庭が読み聞かせを実施しているとの回答をいただいています。また、図書館への市民登録者数も平成28年度は137,165人で前年度比3,542人増えていることから、子どもが家庭で読書に親しむ環境は整ってきていると考えられます。

しかし、26年度以降については調査未実施のため、平成28年度以降のデータを収集し、より高い実施率への取り組みに繋げていくことが重要であると考えます。

家庭での読書の機会の提供として、赤ちゃんとその保護者に向けて本の楽しさを伝えるブックスタート事業(NO.18)では、平成28年度は1,477パック配付しています。これは健康増進課の実施している「すくすく7か月育児相談」の来場者、図書館本館、子育て支援センター等（市内5か所）での出張おはなし会等に配付されています。平成28年度には新たに香川駅前子育て支援センターが出張おはなし会に加わり参加機会が増えています。配付数1,477は目標値80%の設定に対して77%の実績値は評価できませんが、今後も様々な機会を捉え、ブックスタートを受けられる機会を増やし配付数を高める工夫をしていただきたい。

おはなし会をはじめとする事業(NO.19)については、本館おはなし会、子育て支援センター一等の出張おはなし会、分館おはなし会、ハマミーナおはなし会等を開催しています。平成28年度参加総数2,422人（平成27年度総数2,688人）で前年度比、多少の減少になっていますが、平成26年度からの参加人数を比べると確実に増加の傾向にあり、家庭における取り組みは順調に推進されていると考えます。

毎月定期的に開催し（子育て支援センター等は年間6か月）、乳幼児から幼児、小学生を対象としたおはなし会は発達段階に応じた読み聞かせの重要性を考えると、今後も保護者への啓蒙を継続し、働きかけを一層進めていただきたい。

今後も様々な機会を通して、親自身が読み聞かせを楽しみ、絵本を上手にを使って子どもとの関わりをたくさん持てるような「読み聞かせの重要性」について継続的に理解を図っていく必要があると考えます。

家庭における読書活動の取り組みについては、積極的なブックスタートのPRとブックスタートを受ける機会を増やすことが課題となっています。

（2）幼稚園・保育園・認定こども園における読書活動の取り組み

各園では図書コーナーの充実を図る（NO.4）ために、図書コーナーを設置し、子どもたちが自由に本をとれるようにするとともに、子どもが整理整頓しやすい工夫をし、読書に親しむ環境を整えています。

また、市立図書館では各保育園での読み聞かせを積極的に進めるため、子ども読書活動推進図書を定期的に団体に貸し出しをしています。（NO.17）

貸出登録団体は平成27年度公立・私立の認可保育園25園から平成28年度は33園に増えており、平成28年度は33園へ延べ3,960冊の貸し出しを行い、積極的な取り組みがされています。

平成28年度、各園では保護者（在園児）の他にも、園庭開放等地域の方の貸し出しを行って自宅での読み聞かせが楽しめる努力がされています。

各園では活動の合間や午睡前などに教諭・保育士による読み聞かせ、定例的に対象年齢に合わせた紙芝居や本を使って保護者・ボランティアによる読み聞かせ、子どもの発達段階に応じたおはなし会を積極的に進めています。（NO.5）

また、図書館等で開催する幼児読書に関する保育士の研修会（ストーリーテリング・読み聞かせ・選書など）に各園とも積極的に参加され、資質の向上に繋がっています。今後も受講しやすい工夫をしていただき、継続して進めていただきたい。（NO.6）

さらに、定期的な園だよりでお勧め本の紹介や3～5才児に個々の図書カードを作成し、返却時に読みの確認をしてリスト化するなど利用増への取り組みもなされ、保護者への読書活動の啓発に繋がっています。（NO.7）

貸出登録団体数も年々増加し、親子で本に親しむ機会が増えています。これからも環境整備の充実と読書活動（読み聞かせ）の推進に努めていただきたい。

（3）学校における読書活動の取り組み

学校図書館整備として、蔵書数の平成28年度学校図書館図書標準は小学校全19校で100%を維持しています。中学校は全13校中5校が100%達成していますが、一時的に破損、老朽化した本の廃棄によって標準値に満たさない結果となっています。（NO.8）

今後も各校の児童・生徒数の推移を見極めながら、標準値を満たす計画を進めていただきたい。

小学校の図書室内の環境整備については、司書教諭・学校図書館嘱託員・読書活動指導協力者が連携して利用しやすい図書室の工夫をし、開館時間についても各校の実情に合わせ、中休み、昼休み、放課後に多くの子どもたちが利用できる環境を整えています。(NO.9)

また、読書活動の充実のために、時間を設定した「朝の読書」の習慣化、教師やボランティアによる読み聞かせ、読書活動指導協力者による読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトークを通して積極的な読書機会の提供を行い、読書に対する興味関心を高めています。(NO.11)

また、学校図書館嘱託員の研修会は平成25年度からは年3回から5回開催しています。平成28年度も学校図書館嘱託員の要望を参考にしたテーマの研修会、他校の図書館見学、図書室内の装飾や本のディスプレイの実習、ブックフェア等の選書の参考となるイベントへの参加、図書館職員による学校単位での個別状況の確認及び指導等を行う中で、専門性を高める研修が積極的に進められています。(NO.10) 今後は、司書教諭も参加できる仕組みや全体研修会も考えていただきたい。

茅ヶ崎寒川地区学校図書館協議会(SLA)は、各校の読書感想文、読書週間ポスターの審査にも関わり読書活動の推進をしています。各校の読書感想文、読書週間ポスターの応募は横ばいの傾向が見られますので、学校と図書館で連携を図り、積極的な取り組みの方策を考えていく必要があります。(NO.12)

さらに、読書活動を啓発するために、「学校だより」や「図書館だより」で、子どもや保護者に読書の重要性を発信するとともに、新着本やおすすめ本が紹介されています。

「読書週間」や「子ども読書の日」にちなんだ展示や本の紹介コーナーを設置し、積極的に読書への関わりを増やす努力もされています。

上記のことより、学校における取り組みは、良好に進捗していると考えます。

特に各小学校へ年間20回(1回3時間)の読書活動指導協力者の読み聞かせ活動と学校図書館嘱託員の役割は大変大きいと考えています。この効果的な体制を継続していただくとともに、読書活動指導協力者の各校での指導回数(時間)を増やすことも期待したい。

(4) 図書館における読書活動の取り組み

図書館の環境整備として児童図書の収集が挙げられます。児童図書については平成26年から平成28年の3年間で23,832冊の図書を購入しています。平成28年度の児童図書は全蔵書の32.3%の蔵書率で蔵書数は増えてきていますが、年度ごとの除籍数を考慮すると、今後も積極的に良質の資料(本)の収集や多様な本をそろえることが望まれます。

平成27年4月に開設したハマミーナ図書室には、10代向けコーナーを設置して子どもたちや地域の方が楽しめるように工夫をしています。平成28年度は韓国語の絵本を特別展示して利用促進に効果を上げています。(NO.14)

また、夏休み期間には「図書館ウラガワ探検ツアー」の開催や、本に親しむきっかけとして、「おやこで楽しむ夏のよるとしよかん」「おやこで楽しむとしよかんのクリスマス」「ぬいぐるみおとまりかい」、中高生を対象にした「中高生向け図書館選書ツアー」の実施は、図書館利用のきっかけになり評価されます。

今後は、本館での世界の絵本展示（例えば、東南アジアや北欧の絵本などは興味深いものがたくさんあります。）や「図書館員イチオシ！おすすめの本コーナー」の新刊お知らせコーナーの工夫等、子どもから大人まで幅広い層が来館するきっかけになる工夫を積極的に進めていただきたい。

平成28年度、株式会社浜銀総合研究所の文科省委託調査の「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」の報告書概要版¹では、子ども読書活動の実態について、読書時間、読書冊数ともに、学校段階・学年が上がるにつれて少なくなっている結果がでています。このことを考えると読書離れが進む中高生に対して、若者向けの雑誌を含めた図書の充実等、本に触れる機会を増やしていくための取り組みを検討していくことも重要であると考えます。

小人の（0才～15才）図書館貸出利用状況については、平成28年度までの過去3年間の利用者数は伸びています。小人の貸出点数については、平成26年から27年は増えています。平成28年度は前年度比若干減になっていますので、貸出を伸ばしていく新たな対応策(改善)を考えていく必要があります。

また、初心者向けの「小学校での読み聞かせ講座」や読み聞かせ経験者のスキルアップを図るための「経験者のための読み聞かせの会」の通年での実施や「小学校図書館おすすめ本の展示会」等、読書に関わる活動・講座・お話講習会が積極的に進められています。これからも様々な年齢層を対象とした魅力ある取り組みをお願いしたい。(NO.16)

今後も市立図書館で研修を受けた多くのボランティアの方々が、小学校や幼稚園・保育園等で活躍できるような支援の継続と読み聞かせボランティアの養成が重要であると考えます。効果的な事業の展開と活躍の場が広がっていくことを期待します。また、小中学校との連携では、小学校の社会体験研修、中学生の職場体験受け入れや茅ヶ崎寒川地区学校図書館協議会（SLA）との連携で読書感想文、読書週間ポスターコンクール展の審査に関わっていただいています。今後も小中学生が図書館での調べ学習や施設見学が広がっていくような学習活動の啓発と利用促進を図るための施策を学校と積極的に進めていただきたい。(NO.20)

保護者や子どもが本を選ぶ参考となる「おすすめ本リストは」市内の小学校や各分室等関係機関に配布され、ホームページにも掲載されています。(NO.22) これからも保護者や子どもたちが様々な所で本に親しみ、自主的な読書活動が行えるような情報の提供をお願いしたい。

¹株式会社浜銀総合研究所(2017)『子供の読書活動の推進等に関する調査研究報告書概要版：3. 子どもの読書活動の実態』p.2-5

(5) 公民館等における読書活動の取り組み

各公民館、青少年会館、子育て支援センターの図書コーナーは、子どもたちの身近な施設であり利用しやすい環境にあります。しかし、施設の規模から蔵書数には限りがあるので、利用者がいつ行ってもあまり変わり映えしないという印象を持たないように、定期的な蔵書の入れ替えやリクエストによる新刊の導入など、魅力ある図書コーナーづくりに努めていただきたい。10代向けの児童図書コーナー、子ども向けの本や漫画、雑誌等の整備、充実に努め利用促進を図っていただきたい。(NO.23)

また、公民館では、絵本を通して親子のふれあいの大切さや絵本の出会いを学ぶ「絵本についての講座」や読み聞かせのボランティアや子育て中の親の参加を啓発する「児童文学講座～松谷みよ子の魅力～」を開催しています。(NO.25)このような「子ども読書活動」の大切さを保護者や関係者への啓発活動を、他の公民館や各コミセン等で積極的に展開していただきたい。

平成28年度評価について

上記の記載内容より、平成28年度に位置づけられた施策の進捗状況は概ね良好であると考えます。一部の施策においては、さらに目標達成に向けての有効な手だてを講じる必要があると考えます。

読書を通じて子どもは読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができます。また、書籍や図鑑、新聞などの資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、知的探求心や真理を求める態度が培われます。このため、子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動を推進することが重要であると考えます。

そのため、家庭、学校、図書館、公民館等の果たす役割は大変重要です。自分と違う考えや価値観に触れることができる本との出会い、そして読書の楽しみを知り、読書の幅を広げていくことが、人生を豊かにし、より深く生きることに繋がっていくものと考えたと読書活動の推進は重要な役割を果たしています。これからも、すべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所において自主的に読書活動を行える環境整備、本が好きになる環境づくりを推進していただきたいと考えます。

2 数値目標に対する実績・分析

数値による評価

第2次子ども読書活動推進計画の推進にあたって、子どもの読書活動が効果的に推進されているかを測るため、数値目標として設定した4項目の実績です。

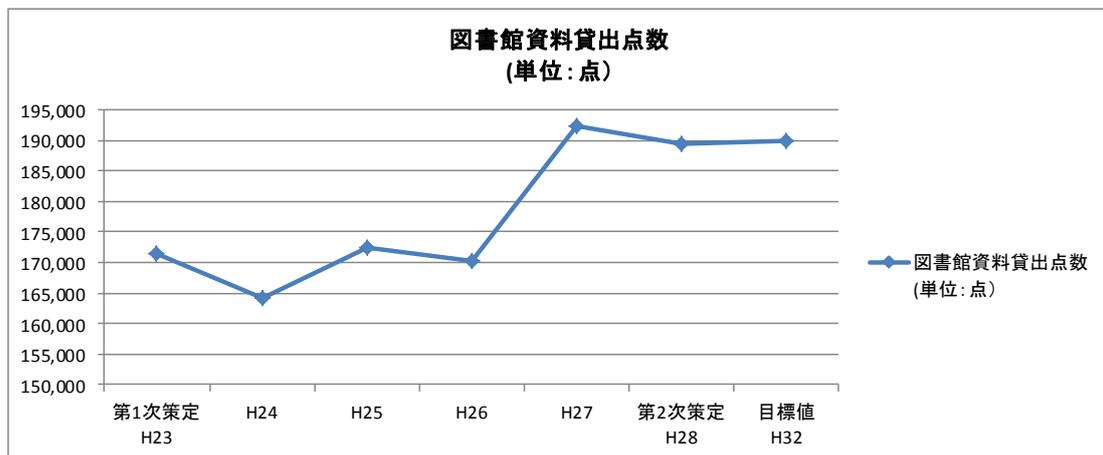
第1次計画から引き続き設定している項目は、推移がわかるようグラフを掲載しました。

(1) 図書館資料貸出点数（0歳から18歳）

目標値（平成32年度）	190,000点
平成28年度実績	189,321点

⇒⇒図書館の基本的機能である貸出点数について、第1次計画において達成できなかった目標値を、本計画において達成することをめざします。

年度	第1次策定 H23	H24	H25	H26	H27	第2次策定 H28	目標値 H32
図書館資料貸出点数 (単位：点)	171,397	164,137	172,502	170,285	192,340	189,321	190,000



(2) 週に1時間以上自主的に本を読む子どもの比率（小・中学生）

目標値（平成32年度）	70%
平成28年度実績	60%

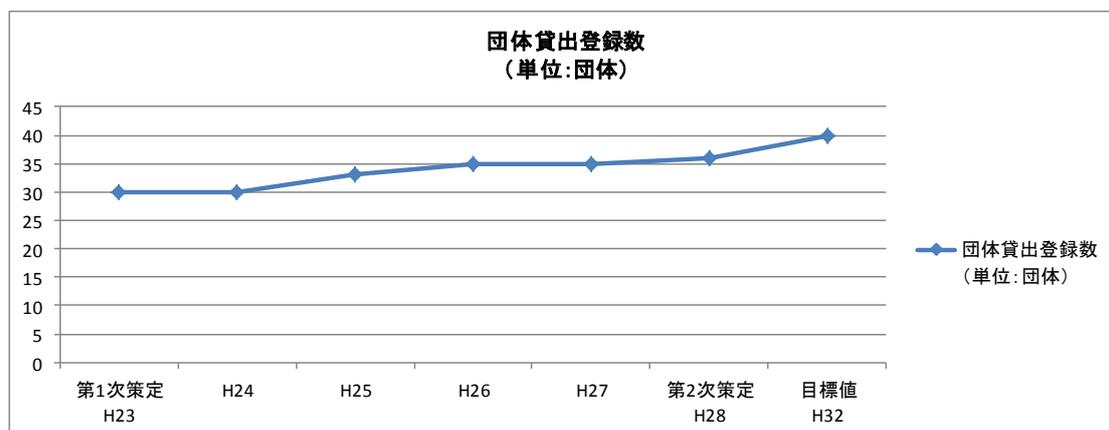
⇒⇒朝の読書など学校の授業に関連するものを除いた、子どもが自主的に読書を行ったものを対象とします。（第2次計画より設定）

(3) 団体貸出登録数（児童クラブ、子ども読書に関するボランティア団体）

目標値（平成32年度）	40団体
平成28年度実績	36団体

⇒⇒子どもに身近な存在であるこれらの団体と図書館との連携を更にすすめ、子どもが読書に親しめる機会を増やします。

年度	第1次策定 H23	H24	H25	H26	H27	第2次策定 H28	目標値 H32
団体貸出登録数 (単位：団体)	30	30	33	35	35	36	40

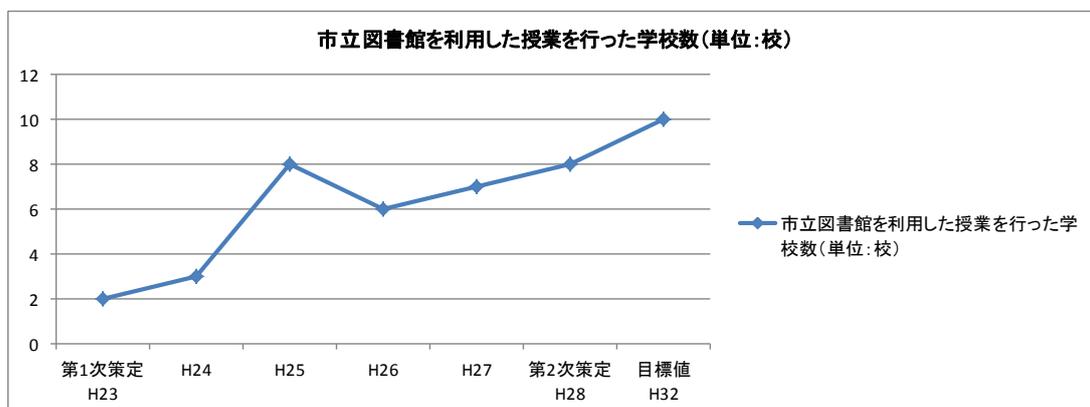


(4) 調べ学習等、市立図書館を利用した授業を行った学校数（小・中学校）

目標値（平成32年度）	10校
平成28年度実績	8校

⇒⇒学校と図書館との連携形態のひとつとして、全市立小中学校のおよそ1/3の利用をめざします。

年度	第1次策定 H23	H24	H25	H26	H27	第2次策定 H28	目標値 H32
市立図書館を利用した授業を行った学校数（単位：校）	2	3	8	6	7	8	10



3 各施策の進行状況

茅ヶ崎市子ども読書活動推進連絡調整会議による内部評価

茅ヶ崎市子ども読書活動推進連絡調整会議は、茅ヶ崎市の子ども読書活動推進に関する施策の充実及び推進を図るために設置された庁内組織です。計画推進のための具体的な取組を行う主体となる部署で構成され、施策の進行状況の確認と評価を行いました。

なお、「(1) 家庭における取組 (施策No. 1～3)」については、前項で設定した数値目標の達成に表れるものであり、行政の自己評価にはなじまないため、対象外としました。

表の見方

表は、第2次子ども読書活動推進計画の「第3章 計画推進のための取組」の「2 具体的な取組」をベースとしています。

(2) 幼稚園・保育園・認定こども園

No.	4	施策					幼稚園・保育園・認定こども園の図書コーナーの充実
		28	29	30	31	32	
	年度						内容
	ねらい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>子どもの目線に合った本の並べ方やコーナー全体の雰囲気工夫を工夫して、子どもが本に親しみやすい空間をつくれます。</p> <p>図書館の団体貸出制度を利用して、本に親しめる環境の充実を図ります。</p> <p>借り返して同じ本を読むなど、子ども特有の本の読</p>
策定時現況	平成27年度	<p>各園の取組と評価年度において、どこか1ヶ所でも実施できた手 に取れるようから■でチェックをします。</p> <p>しています。図書を楽</p> <p>しんでもらえるよう、貸出しも行っています。</p> <p>また、園内の本だけではなく、団体貸出制度を利用するなど図書館 の蔵書を活用することも行っています。</p>					
	平成28年度						
	平成29年度						
	平成30年度						
	平成31年度						
	平成32年度						
関連施策		No.17：団体貸出の推進（図書館における取組）					

(写真など)

写真などを掲載し、取り組みの様子がわかるようにしています。

(2) 幼稚園・保育園・認定こども園における取組

No.	4	施策					幼稚園・保育園・認定こども園の図書コーナーの充実
		28	29	30	31	32	
ねらい		■	□	□	□	□	子どもの目線に合った本の並べ方やコーナー全体の雰囲気工夫して、子どもが本に親しみやすい空間をつくれます。
		■	□	□	□	□	図書館の団体貸出制度を利用して、本に親しめる環境の充実を図ります。
		■	□	□	□	□	繰り返して同じ本を読むなど、子ども特有の本の読み方を理解して、子どもに接します。
策定時現況 平成27年度	各園の取組として、図書コーナーを設置し、子どもが自由に本を手にとれるようにするとともに、子どもが整理整頓しやすいよう工夫をしています。図書コーナーの本は、保護者と一緒に本を選び自宅で楽しんでもらえるよう、貸出しも行っています。 また、園内の本だけではなく、団体貸出制度を利用するなど図書館の蔵書を活用することも行っています。						
平成28年度	貸出しは在園児だけでなく園庭開放等地域の方にも利用していただいている園もあります。						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No.17：団体貸出の推進（図書館における取組）						



(保育園での貸出文庫（かめきち文庫）)

No.	5	施策					絵本やおはなしに親しむ環境整備
		28	29	30	31	32	
ねらい		■	□	□	□	□	教諭、保育士による読み聞かせを行い、本の楽しさを伝えます。
		■	□	□	□	□	保護者やボランティアの参加により、読み聞かせの機会を増やします。
		■	□	□	□	□	子どもの発達段階に応じたおはなし会を行います。
策定時現況 平成27年度	各園においては、活動の合間や午睡前などに、日常的に読み聞かせを行っています。また、ボランティア団体の協力を得て定例的に対象の年齢に合わせた紙芝居や本を使い、読み聞かせを行っている園もあります。 園児ばかりでなく、園庭開放の際の地域からの参加者に向けても、読み聞かせを行っています。						
平成28年度							
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No.11：学校における読書活動の充実（学校における取組） No.19：おはなし会をはじめとする事業の充実（図書館における取組） No.24：ボランティアと連携した事業の実施（公民館等における取組）						



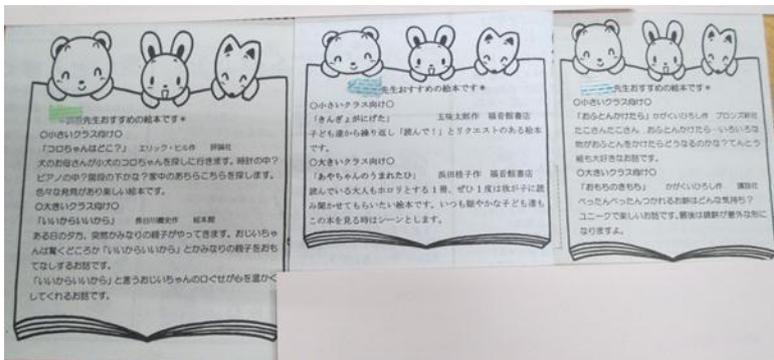
(地域ボランティア団体読み聞かせ)

No.	6	施策	教諭・保育士の読書に関する資質の向上				
年度	28	29	30	31	32	内容	
ねらい	■	□	□	□	□	ストーリーテリング、読み聞かせ、選書など読書に関する研修会へ積極的に参加します。	
策定時現況 平成27年度	<p>図書館等で開催される研修に参加するとともに、保育研修会などにおいても読み聞かせを研修テーマに選定し、実施しています。</p> <p>このうち、図書館主催の読み聞かせ講習会は時間帯が午前中であったり、複数回の参加が必要な講座が多いなど、参加者によっては受講しづらい状況にあります。</p>						
平成28年度							
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No.16：ボランティア登録・派遣システム構築及び支援者の養成（図書館における取組）						



（保育の様子（1歳児クラス））

No.	7	施策					園だよりやリストなどを使った本の紹介
		年度	28	29	30	31	
ねらい	■	□	□	□	□	□	おすすめ本リストを収集して、保護者へ本を紹介するとともに、本の楽しみ方を伝えます。
	■	□	□	□	□	□	読書相談を受け、保護者の不安や疑問に答えます。
策定時現況 平成27年度	各園において、保護者向けに定期的に本の紹介をしています。 また、図書コーナーで貸出しの多い本のリストや、多く読まれている年齢、読んで欲しい本などをお便りで紹介し、子ども読書に興味を持ってもらえるよう取り組んでいます。						
平成28年度	毎月の園便りで保育士お勧めの絵本を紹介したり、目立つように置いています。また、貸出図書においては個人にカードを作成したことにより貸出利用が増えました。地域の子育て世帯向けには「ほいくえんつうしん」でお勧め絵本を紹介することもあります。						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No. 1 : 家庭における読書活動の推進（家庭における取組） No.22 : 子ども読書に関する情報提供（図書館における取組）						



(毎月の園便り)

(3) 学校における取組

No.	8	施策					学校図書館資料の充実
		28	29	30	31	32	
ねらい		■	□	□	□	□	資料の収集にあたっては、単なる流行や量にとらわれず、質の高い本をそろえるようにします。
		■	□	□	□	□	図書館活動の一つである図書館団体貸出をより積極的に利用し、子どもの読書機会を増やしていきます。
		■	□	□	□	□	公立小学校においては、引き続き学校図書館図書標準100%を維持するように、公立中学校においては、全校学校図書館図書標準の100%達成へ向けて収集を進めます。
		■	□	□	□	□	小学校高学年からみられる読書離れに対応するため、10代を対象とした図書を積極的に収集し、提供します。
策定時現況 平成27年度	<p>学校図書館図書標準については、小学校は平成24年度に全19校で100%を達成し、これを維持しています。しかしながら、在校児童・生徒数の増加や破損・老朽化した本の廃棄などによって、一度100%を達成した学校でも再度100%未満になる可能性があることから、各校の児童・生徒数の将来推計を見極めながら対応することが必要です。</p> <p>図書館においては、学校の授業に必要な図書の貸出依頼や相談が増えており、定期的に利用されています。</p>						
平成28年度	<p>学校図書館図書標準については、小学校は全19校で100%を維持し、中学校は一時的に破損・老朽化した本の廃棄が増加したことから、100%達成している校数が、平成27年度の6校から5校となりました。</p>						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							

<p>関連施策</p>	<p>No.17：団体貸出の推進（図書館における取組）</p>
-------------	---------------------------------



（中学校図書館の様子）

No.	9	施策					学校図書館運営の工夫
		28	29	30	31	32	
	年度						内容
ねらい		■	□	□	□	□	必要な本が探しやすい図書の配列や、子どもが入りやすい空間をつくれます。
		■	□	□	□	□	子どもの生活時間に合わせた開館時間の見直しを行います。
		□	□	□	□	□	学校の蔵書のデータベース化と活用方法について研究します。
策定時現況 平成27年度	図書館内のレイアウトは、司書教諭や各嘱託員、読書活動指導協力者が連携し、工夫を凝らしています。開館時間については各学校の実情に合わせ、昼休みや放課後に開館し、多くの子どもたちが利用しています。						
平成28年度	開館時間については各学校の実情に合わせ、中休みや昼休み、放課後に開館し、多くの子どもたちが利用しています。						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策							



(畳を敷いた子どもが入りやすい空間の工夫)

No.	10	施策					司書教諭、学校図書館嘱託員の研修の充実
		年度	28	29	30	31	
ねらい		■	□	□	□	□	司書教諭、学校図書館嘱託員など教職員の専門性を高めるため、研修会へ参加します。
策定時現況 平成27年度		学校図書館嘱託員の研修は例年3回実施していましたが、平成25年からは5回開催しています。内容は、①年度ごとに嘱託員の要望を参考にテーマを定めた講義を行うもの、②他校の図書館を見学して自校の運営手法の改善を図るもの、③嘱託員が抱えている課題を相互に共有し、図書館職員のアドバイスを受けながら解決策を探るもの、④図書室内の装飾や本のディスプレイの実習など、多方面にわたり活発に行われています。					
平成28年度		①②を同様に実施し、年度当初に③総会として基本的な内容や年間予定の確認、④として、ブックフェア等選書の参考となるイベントへの参加、⑤として職員による学校単位での個別状況の確認及び指導等を行いました。					
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策		No.16：ボランティア登録・派遣システム構築及び支援者の養成（図書館における取組）					



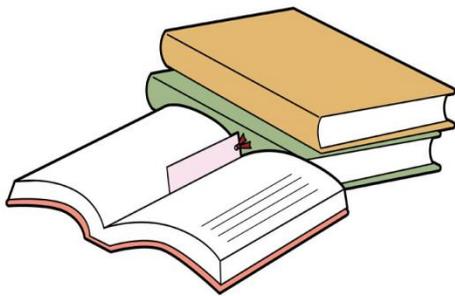
（研修で円蔵中学校、梅田小学校、柳島小学校の図書館を見学）

No.	1 1	施策	学校における読書活動の充実				
年度	28	29	30	31	32	内容	
ねらい	■	□	□	□	□	読書が習慣になるように朝の読書や読み聞かせを行います。	
	■	□	□	□	□	子どもが本を幅広く選べるように、本を読むきっかけづくりとして、読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク等を実施します。	
	■	□	□	□	□	学校図書館と児童・生徒との関わりを深めるために、読書相談や調べ学習などの支援を行います。	
策定時現況 平成27年度	<p>子どもたちが本に親しみ知識を広げ心豊かになれるよう、ボランティアの協力を得て、各学校の状況に合わせ、朝の読書、読み聞かせ、ブックトーク等効果的な読書活動を行っています。</p> <p>また、おすすめの本や調べ学習の資料として本の紹介をするなど、読書相談や支援を行い、学校図書館と子どもたちの関わりを深める取組を行っています。</p> <p>これに加えて、調べ学習（総合的な学習の時間）について、図書館も活用して行っています。</p>						
平成28年度	読書活動指導協力者によるブックトーク等は、子どもたちの読書に対する関心を高めています。						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No.20：学校との連携（図書館における取組）						



(学校図書館前に掲示された読み聞かせの案内)

No.	12	施策					茅ヶ崎寒川地区学校図書館協議会（SLA）を通じた情報交換
年度	28	29	30	31	32	内容	
ねらい	■	□	□	□	□	茅ヶ崎寒川地区学校図書館協議会（SLA）などを通じて各学校の情報交換を行い、読書活動に役立てます。	
策定時現況 平成27年度	茅ヶ崎寒川地区学校図書館協議会（SLA）を年間5回開催し、読書感想文コンクール、読書感想画の審査や各学校の取組の情報交換を行い、各学校の読書活動に役立てています。						
平成28年度							
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策							



No.	1 3	施策		子どもの読書活動を啓発する取組の推進				
		年度	28	29	30	31	32	内容
ねらい		■	□	□	□	□	「学校だより」等への掲載や、おすすめ本リストなどの作成により、保護者や児童・生徒に本の紹介や読書の重要性を伝えます。	
		■	□	□	□	□	「読書週間」や「子ども読書の日」にちなんだ展示等を行います。	
		■	□	□	□	□	委員会活動等を通じて、子どもたちが積極的に読書への関わりを持てるようにします。	
策定時現況 平成27年度	<p>各学校で、学校だよりや図書館だよりにより新着図書やおすすめの本の紹介等を掲載し、子どもたちや保護者に読書の重要性を発信するとともに、「読書週間」や「子ども読書の日」にちなんだ展示や本の紹介コーナーを設置する等の工夫を行っています。</p> <p>また、各学校の委員会活動において、ポスターの作成・掲示、本の整理、呼びかけ等を行い、活動を通して読書への関わりを持てるよう指導しています。</p>							
平成28年度								
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
関連施策	No.22：子ども読書に関する情報提供（図書館における取組）							



（読書活動を啓発する環境づくり）

(4) 図書館における取組

No.	14	施策					児童図書資料の充実
		28	29	30	31	32	
	年度						内容
ねらい		■	□	□	□	□	子どもの発達段階にあわせた様々な図書資料の充実を図ります。
		■	□	□	□	□	絵本や物語に限らず、図鑑や参考図書など、子どもの利用目的に対応できる資料の充実を図ります。
		■	□	□	□	□	保護者やボランティアが利用できる、読み聞かせなどの子ども読書活動に関する資料の充実を図ります。
		■	□	□	□	□	様々な環境にある子どもが読書を楽しめるよう、資料の収集を行います。
		■	□	□	□	□	小学校高学年から進む読書離れに対応するため、10代向け図書を積極的に収集します。
策定時現況 平成27年度	<p>児童図書の蔵書数は増えてきていますが、量とともに、これまで以上に質の高い資料収集を行う必要があります。この中では、外国語児童図書や障害児に対応した図書も収集しています。</p> <p>また、平成27年4月に開設したハマミーナ図書室に、10代向けコーナーを設置しました。</p>						
平成28年度	韓国語の絵本を受け入れ、ハマミーナ図書室で特別展示を行いました。						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策							



(ハマミーナ図書室特別展示)

No.	15	施策		子どもが利用しやすい環境の整備				
		28	29	30	31	32	内容	
ねらい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	児童書に詳しい職員を養成します。		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	児童カウンターを設置し、子ども向け読書相談を受けます。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	中・高校生を対象とした読書講座を行い、子どもが来館するきっかけをつくります。		
策定時現況 平成27年度	<p>「よんでネット」の発行や夏休みコーナーの設置を行い、子どもが本を手に取りやすい工夫を行っています。</p> <p>また、児童書に詳しい職員を養成するため、児童サービスに関する研修会へ継続的に参加しています。</p> <p>夏休み期間中には「夏休み宿題講座」を開催し、普段とは違う図書館の使い方をしてもらうなど、来館するきっかけをつくる工夫をしています。</p>							
平成28年度	<p>夏休み期間中には、27年度から内容を変えて「図書館のウラガワ探検ツアー」を開催しました。</p> <p>本に親しむきっかけとして、市民活動団体と協力し「おやこで楽しむ夏のよるのとしょかん」「おやこで楽しむとしょかんのクリスマス」「ぬいぐるみおとまりかい」を開催しました。</p> <p>また、民間企業と協力し、中高生を対象としたイベントとして「中高生向け図書館選書ツアー」を実施しました。</p>							
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
関連施策								



(ぬいぐるみおとまり会)



(図書館選書ツアー)

No.	16	施策					ボランティア登録・派遣システム構築及び支援者の養成
年度	28	29	30	31	32	内容	
ねらい	■	□	□	□	□	読み聞かせボランティアを養成するために、読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなど研修会や講演会を開催します。	
	□	□	□	□	□	子どもの読書に関わるボランティアが十分に活躍できるように、登録・派遣などのシステムをつくりま	
策定時現況 平成27年度	読み聞かせに関連する講習会等については、自宅での読み聞かせを対象とした講座のほか、学校での読み聞かせやストーリーテリング、わらべうたの講習会などボランティアを対象とした講座などを開催しました。						
平成28年度	読み聞かせ経験者のスキルアップを図るため、通年で「経験者のための読み聞かせの会」を開催しました。また、児童クラブの職員へ読み聞かせ講座を行いました。 平成26年度より開催している「小学校図書館おすすめの本の展示会」では、おすすめポイントの紹介や選定理由等のミニトーク、レシート芯で作るブックスタンドの作り方や材料提供を行いました。						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策							



（「小学校での読み聞かせ講座」の様子）



（ストーリーテリング基調講演・清水千秋さん）

No.	17	施策		団体貸出の推進				
		28	29	30	31	32	内容	
ねらい	■	<input type="checkbox"/>	幼稚園、保育園・認定こども園、学校などの読書活動を支援するため、本の貸出しを行います。					
	■	<input type="checkbox"/>	ボランティアの読み聞かせ活動等を支援するため、本の貸出しを行います。					
策定時現況 平成27年度	読み聞かせ活動推進のため定期的に図書の貸出しを行っており、平成26年度は保育園(25園)へ延べ3,750冊を、児童クラブ(28団体)へ延べ10,334冊を、学校(18校)へ延べ1,364冊を貸出ししました。							
平成28年度	平成28年度は保育園(33園)へ延べ3,960冊を、児童クラブ(29団体)へ延べ11,734冊を、学校(18校)へ延べ1,746冊を貸出ししました。 また、貸出文庫の書架に「図書館員イチオシ!おすすめの本コーナー」を設けました。							
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
関連施策	No.4: 幼稚園・保育園・認定こども園の図書コーナーの充実(幼稚園・保育園・認定こども園における取組) No.8: 学校図書館資料の充実(学校における取組)							



(図書館員イチオシ!おすすめの本コーナー)

No.	18	施策					ブックスタート事業の推進
		28	29	30	31	32	
ねらい		■	□	□	□	□	絵本を通して、赤ちゃんとその保護者の心がふれあうきっかけをつくれます。
策定時現況 平成27年度		ブックスタートは赤ちゃんとその保護者に、絵本や子育て情報等が入ったブックスタートパックを読み聞かせをしながら手渡し、親子のふれあいや読み聞かせの大切さを伝える事業です。現在はボランティアの協力を得て、こども育成相談課が実施している「すくすく7か月児育児相談」の来場者に対し主に実施していますが、図書館本館においても行っています。対象者が利用しやすいよう、ブックスタートを受けられる機会を増やしていく必要があります。					
平成28年度		出張おはなし会の開催時にブックスタートを受けられますが、平成28年度から新たに香川駅前子育て支援センターが加わりました。					
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策		No. 1：家庭における読書活動の推進（家庭における取組） No.24：ボランティアと連携した事業の実施（公民館等における取組） No.25：講座・講演等啓発活動の実施（公民館等における取組）					



(ブックスタート)

No.	19	施策					おはなし会をはじめとする事業の充実
年度	28	29	30	31	32	内容	
ねらい	■	□	□	□	□	本の楽しみを知ってもらうため、図書館職員やボランティアによるおはなし会を開催します。	
策定時現況 平成27年度	<p>おはなし会として、①赤ちゃん向けおはなし会「おひざにだっこ」（図書館本館：毎月第3水曜日 香川分館：2か月に1回） ②小さい子向けおはなし会（図書館本館：毎月第2・第4水曜日 香川分館：毎月第3土曜日）③小学生までを対象としたおはなし会（図書館本館：偶数月の第1土曜日及び毎月第4土曜日）④ボランティアによる小学生までを対象としたおはなし会（図書館本館：毎月第2土曜日）を実施しています。</p> <p>平成25年度からは、その他に子育て支援センターや県立養護学校、教育懇談会、ふれあい広場などで出張おはなし会を開催しています。</p>						
平成28年度	<p>ハマミーナ図書室において、毎月第2木曜日におはなし会を開催しています。また、保育園からの依頼による本館でのおはなし会を試行しました。</p> <p>出張おはなし会は、新たに香川駅前子育て支援センター及び放課後等デイサービスで開催しました。</p>						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	<p>No. 2：おはなし会をはじめとする事業への参加（家庭における取組）</p> <p>No.24：ボランティアと連携した事業の実施（公民館等における取組）</p>						



（本館のおはなし会）

No.	20	施策		学校との連携			内容
		28	29	30	31	32	
ねらい		■	□	□	□	□	本に接する仕事を理解してもらうため、中学生の職場体験や教員の社会体験研修を受け入れます。
		■	□	□	□	□	様々な分野の本を利用し、本を活用した調べ方が身につくよう、調べ学習を受け入れます。
		■	□	□	□	□	図書館の利用方法やレファレンスサービスなどを知ってもらうため、図書館見学を受け入れます。
		□	□	□	□	□	児童・生徒が図書館を身近なものにするため、市立図書館を利用した授業を工夫します。
策定時現況 平成27年度	中学生の職業体験は、図書館本館のみの実施ですが、教職員の研修については、平成26年度から香川分館においても実施しています。調べ学習（総合的な学習の時間）や施設見学についても、今後も積極的に受け入れを行ってまいります。特に、施設見学については、平成25年度から特別支援級の児童・生徒やつつじ学園の子どもたちを対象として、閉館時を活用した図書館見学を実施しています。						
平成28年度							
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No.11：学校における読書活動の充実（学校における取組）						



(新聞形式でまとめられた職業体験の記録)

No.	21	施策					社会教育施設や関係機関と連携した事業の実施
		年度	28	29	30	31	
ねらい		■	□	□	□	□	公民館等の地域での講座、講演会の共催や連携事業を開催し、図書室・図書コーナーを利用するきっかけとします。
		■	□	□	□	□	地域にある障害児施設と連携し、読書活動を支援します。
策定時現況 平成27年度	<p>南湖公民館・香川公民館において、子ども達への読み聞かせ事業を実施する際、図書館から本を取り寄せて行っています。また、庁内で開催する講座のテーマに沿った図書資料を選定・提供する「どこでも本ダイベント応援サービス」を行っています。</p> <p>そのほか、文化生涯学習課が主催する子育て世代のための生涯学習交流サロンでの読み聞かせや、レインボーフェスティバルにおいて、本のリサイクルフェア、青空図書館を実施しています。</p>						
平成28年度	<p>ハマミーナ図書室では、まちづくりスポット茅ヶ崎の講座と連携し、資料の特別展示と貸出しを行いました。</p> <p>レインボーフェスティバルにおける本のリサイクルフェア、青空図書館の実施は見送りました。</p> <p>地域にある障害児施設である放課後等デイサービスにおいて出張おはなし会を開催しました。</p>						
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
関連施策	No.25：講座・講演等啓発活動の実施（公民館等における取組）						



(ハマミーナ図書室特別展示)

No.	2 2	施策		子ども読書に関する情報提供				
年度	28	29	30	31	32	内容		
ねらい	■	□	□	□	□	図書館ホームページの児童コーナーを活用して、子ども読書に関する情報を提供します。また、ホームページのリンクについても積極的に行います。		
	■	□	□	□	□	保護者や子どもが本を選ぶ参考となるよう、図書館やボランティアが発達段階や年齢に合わせて本を選び作成したおすすめ本リストを、図書館や関係機関で配布して読書への理解を深めます。		
	□	□	□	□	□	調べ学習などの目的に合った本のリストを作成し配布します。		
	□	□	□	□	□	市のブックスタート啓発資料「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本」や、そこで紹介されている絵本を子育て支援センター等関係機関へ配布します。		
策定時現況 平成27年度	<p>平成24年度のホームページのリニューアルで「きっずページ」を新たに設け、図書リストなど子ども読書に関する情報を提供しています。「きっずページ」は、子育て情報サイト「FuBo Labo ちがさき」からもアクセスできるよう、リンクしています。</p> <p>また、保護者や子どもが本を選ぶ参考となるように対象や目的に合わせた本のリストを4種類作成し、いずれも図書館本館、香川分館、各分室で配布・掲示し、ホームページへも掲載しており、リストの対象に応じて各関係機関へも配布しています。</p> <p>その他、関連した自主事業でもリストの配布・掲示や参考図書の紹介を行い、情報提供に努めています。</p>							
平成28年度	<p>子育て情報サイト「FuBo Labo ちがさき」からのリンクは、事業廃止に伴い、終了しました。</p> <p>本のリスト4種類のうち、「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本」はホームページのみ、「いちねんせいへのおすすめの本」は冊子のみ、「2015年出版の小学校図書館におすすめの本」は、展示来場者のみの配布となっています。また、新たに「小学校図書館におすすめの本 シリーズNo.1」を発行し、市内小学校、各分室に配布し、ホームページに掲載しました。</p>							

平成29年度	
平成30年度	
平成31年度	
平成32年度	
関連施策	<p>No. 1 : 家庭における読書活動の推進（家庭における取組）</p> <p>No. 7 : 園だよりやリストなどを使った本の紹介（幼稚園・保育園・認定こども園における取組）</p> <p>No.13 : 子どもの読書活動を啓発する取組の推進（学校における取組）</p>



(図書館ホームページ「きっずページ」)

(5) 公民館等における取組

No.	23	施策		図書コーナーの設置・充実				
		年度	28	29	30	31	32	内容
ねらい		■	□	□	□	□	公民館・青少年会館は子どもの身近にある施設であることを活かし、既存の図書室とは別に、10代向け図書コーナーの設置・充実を行います。	
		■	□	□	□	□	子育て支援センター等の幼い子どもと関わりのある関連施設では、親子で本を楽しむ雰囲気を整えるよう努めます。	
策定時現況 平成27年度	<p>公民館等においては、鶴嶺、松林公民館に年齢層を限定していない図書コーナーがあるほか、青少年会館には10代向けの雑誌を設置しています。</p> <p>各子育て支援センターにおいては図書コーナーを設置済みです。図書館等によるおはなし会を子育て支援センターで開催することにより、さらに本に親しむ機会ができ、親子で楽しめる環境が整ってきています。また、希望者には貸出しも行っています。</p>							
平成28年度	<p>青少年会館では、子ども向けの本や漫画、10代向けの雑誌を設置しています。</p>							
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
関連施策	<p>No. 3：図書館等の利用（家庭における取組）</p> <p>No.14：児童図書資料の充実（図書館における取組）</p>							



(青少年会館1階ロビーに設置)



(浜竹子育て支援センターのびのび)

No.	24	施策		ボランティアと連携した事業の実施				
		年度	28	29	30	31	32	内容
ねらい		■	□	□	□	□	公民館や青少年会館においては、ボランティアの協力を得て読み聞かせやおはなし会を行い、子どもに本の楽しさを伝えます。	
		■	□	□	□	□	ボランティアとの連携などにより、おはなし会を中心にいろいろな機会を捉え、子どもたちに絵本の楽しさを伝えます。	
策定時現況 平成27年度	公民館や青少年会館においては、子どもたちが本にふれあい、本の楽しさを知ってもらうために、ボランティアの協力を得た読み聞かせ事業を実施しています。							
平成28年度								
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
関連施策	No. 5：絵本やおはなしに親しむ環境整備（幼稚園・保育園・認定こども園における取組） No.11：学校における読書活動の充実（学校における取組） No.18：ブックスタート事業の推進（図書館における取組） No.19：おはなし会をはじめとする事業の充実（図書館における取組）							



（青少年会館で開催のこどもの国）



（子育て支援センターのおはなし会）

No.	25	施策		講座・講演等啓発活動の実施				
		年度	28	29	30	31	32	内容
ねらい		■	□	□	□	□	教育センターや公民館は、子ども読書活動に関わる講座・講演を行い、子どもの読書の大切さについて、保護者や関係者に啓発活動を行います。	
		■	□	□	□	□	母親教室等、子育てに関連した事業で子どもに本を読むことの大切さや、読み聞かせなどの方法について啓発します。	
		□	□	□	□	□	各種講座や交流会の機会を通して、読書活動の重要性などについて、周知します。	
策定時現況 平成27年度	<p>教育センターにおいては、保育園で開催した「乳幼児期の子育ち・子育て出前講座」において講演を行っています。</p> <p>公民館においては、南湖公民館主催による、親子でふれあいの時間を持つことの大切さや絵本との出会い方等を学ぶ、絵本についての講座を実施しました。</p>							
平成28年度	<p>27年度の取り組みに加え、香川公民館では、「児童文学講座～松谷みよ子の魅力～」を開催し、読み聞かせを行っているボランティアや子育て中の親の参加者への啓発を行いました。</p>							
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
関連施策	No.21：社会教育施設や関係機関と連携した事業の実施（図書館における取組）							



(乳幼児期の子育ち・子育て出前講座の様子)

4 (参考) 教育委員会の評価・点検

教育委員会の評価・点検及び茅ヶ崎市教育基本計画による評価

茅ヶ崎市教育委員会は、法律で義務付けられている教育行政事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を茅ヶ崎市教育基本計画の進行管理と一体的に行っています。

評価をまとめた「教育委員会の点検・評価」の中で、図書館は「子ども読書活動推進事業」の評価を行っており、あわせて「教育に関し学識経験を有する者の知見」もいただいています。ここでは、該当部分を抜粋、掲載しました。

書名 『教育委員会の点検・評価 平成29年度（平成28年度 事業対象）』
著者 教育推進部 教育政策課／編
出版者 茅ヶ崎市教育委員会
※市ホームページのほか、図書館本館においても閲覧できます。

(68ページ抜粋)

政策2 学びあい響きあう社会教育の充実
 施策5 大人と子どもが共に育ちあう社会教育の推進

主要な事業

事業名	子ども読書活動推進事業			
主管課	図書館			
施策の方向	⑧市民が読書に親しめる環境づくり			
目標・目的	大人たちが子どもに読書のよこびを伝えながら、子どもたちが自由に、かつ自主的に読書活動に取り組むことができるような環境の整備や、機会の提供について、学校などとの連携により進めます。			
事業内容	子ども読書活動の普及と啓発のために、家庭での読み聞かせが行えるよう、読み聞かせの方法と絵本の配布を乳幼児とその保護者に行うブックスタート事業や、年齢に応じたおはなし会などを実施します。 また、ボランティアの育成として、支援者養成講座（読み聞かせやストーリーテリング、わらべうた等講習会）の開催や図書館見学、中学生の職業体験を実施します。			
活動指標	ブックスタートパック配布率			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	評価
目標値	80%	80%	80%	S
実績値	77.05%	-	-	
【事業実績】	<p>平成28年4月に「第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画」を策定しました。図書館を利用したことのない子どもと保護者への働きかけとして、「おやこで楽しむ夏の夜の図書館」「おやこで楽しむとしょかんのクリスマス」「ぬいぐるみおとまりかい」などの事業を市民ボランティアの方々の協力のもとに実施しました。香川分館では、夏休みに図書館の仕事体験する「一日こども図書館員」を実施しました。</p> <p>赤ちゃんとその保護者に向けて本の楽しさを伝えるブックスタート事業は、主たる会場の「7か月児育児相談」のほか本館で実施し、1,477パック配布しました。定例的なおはなし会や映画会のほか、乳幼児期の保護者のために市長部局と連携し、各子育て支援センターで出張おはなし会を行いました。保育園への読み聞かせ推進用図書の出借も実施しました。</p> <p>平成26年度から実施している「小学校図書館おすすめの本」と題した展示会（学校図書館向け図書選定用展示会）を3日間にわたり実施しました。ブックトーク講師派遣事業では、梅田中、北陽中、鶴嶺中、中島中の計18クラスに対して実施し、読書離れが始まる段階に差しかかる中学1年生に、単なる本の情報を伝えるだけでなく、興味を持たせて自発的に読む気持ちになるように努めました。また、中学生職業体験17人、高校生インターンシップ2人、学校教職員研修10人の受入れを行ったほか、小・中学校の特別支援級対象の図書館見学会や障害者施設への出張おはなし会も実施しました。</p> <p>支援者養成を目的とした「小学校での読み聞かせ講座」「経験者のための読み聞かせの会」「ストーリーテリング講習会」「ブックトーク研究会」など5事業（25日）を実施しました。</p>			
【取り組みの成果】	自主事業は、支援者養成を目的とした事業、新たな利用者層の開拓を目的とした事業など、多岐にわたった事業を実施しています。また、乳幼児から児童・生徒と幅広い年齢層に向けた取組も行っています。現在実施している事業の効果がすぐに見えるものではないため、5年後、10年後の子どもの成長を願って積極的に取り組んでいるところです。			
【課題・今後の取り組み】	「第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画」では、子どもの読書活動に関する情報提供と啓発を行うことを基本方針の1つとしています。今後も積極的に情報提供を行っていく必要があります。			

(95～97ページ「教育に関し学識経験を有する者の知見」抜粋)

「施策5：大人と子どもが共に育ち合う社会教育の推進」

図書館では4月に策定された「第2次子ども読書活動推進計画」をふまえ、施策の方向⑧「市民が読書に親しめる環境づくり」を実行する「子ども読書活動推進事業」が展開されました。ボランティアの方々の協力を得た夜間の本館での親子プログラムや、香川分館で夏休みの「子ども図書館員」体験事業が行われました。事業評価の指標であるブックスタートパック配布率は僅かに目標値に届かず、引き続き達成に向けた取り組みを期待します。子育て支援センターでの「おはなし会」や保育園での貸出事業、中学校でのブックトーク講師派遣事業等のアウトリーチや、支援者養成事業も積極的で、学校教職員の研修も実施されています。可能な限り学校の読書活動を支える視点から、嘱託員の支援に加えて司書教諭の充実等の学校図書館の長期的、総合的な計画を、学校とともに練り上げられることも期待します。

図書館の自主事業も活発で、平成28(2016)年度は本館で38事業、分館で4事業が実施されました。図書館探検ツアーや蔵書印・蔵書票の作成講座、ジャズ講座等、市民の利用を促す魅力的な事業は今後も継続していただきたいです。書店やNPOの協力を得て始められた啓発事業である「本がだいすきプロジェクト ちがさき」は意欲的な取り組みです。東洋大学や文教大学、沖縄県立芸術大学、また美術館や人物館との連携事業も高く評価されます。

「図書館利用及び貸出事業」は平成28(2016)年度の事業評価において資料貸出点数が本館、分館ともに目標値の9割弱に止まることからB評価となります。しかし図書館事業の実績は明らかであり、公民館等の図書室、移動図書館車での貸出や企業(ケーブルテレビ)と連携した家庭配本サービス、中学校等の調べ学習への対応等の意欲的な取り組みは今後も継続していただきたいです。質の高い図書館利用のための司書によるレファレンスサービスも、いっそうの充実が期待されます。

施策の方向⑨「情報拠点としての図書館の充実」も重要です。資料収集事業では、本館、分館を合計した購入図書冊数は目標値を上回っています。視聴覚資料を含め、資料の充実は図書館事業の核として継続、発展させていただきたいです。

第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画 平成28年度評価書

平成30（2018）年5月発行

第1刷 80部発行

発行 茅ヶ崎市教育委員会

編集 教育推進部図書館

〒253-0053

茅ヶ崎市東海岸北一丁目4番55号

電話 0467-87-1001

FAX 0467-85-8275

ホームページ <http://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/>

携帯サイト <http://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/i/>

携帯サイトQRコード

